



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) あなたを活かすダイバーシティ研究環境の整備

令和3年度事業報告書

ごあいさつ



金沢大学長
山崎 光悦

金沢大学は、グローバル化の進む社会において新たな価値の創出をリードする人材の育成と、世界的な研究拠点の形成を目標のひとつに掲げ、教育改革、研究力強化に向けた様々な改革を進めています。その実現のためには、性別、国籍、人種等の異なる多様な人材が集結し、お互いを尊重し合い、一人一人がその個性と能力を十分に発揮できる環境を整備することが重要であると考えています。

金沢大学は、平成29年に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択されて以来、ダイバーシティ研究環境の実現に向けて、富山県立大学、YKK株式会社そして本学の三者の連携による様々な取組を展開しております。研究力向上による女性研究者の上位職への登用促進や、キャリアモデルの提示を通じた女子学生の大学院への進学促進、女子中高校生への理系選択の啓発活動など、女性人材育成の好循環を形成する取組を通じて、意欲的な女性が活躍する新たな社会への成長と変革を目指しています。

誰もが存分に活躍できるダイバーシティ環境の構築により、魅力ある大学像、そして地域の実現から北陸全体の発展につなげるにとどまらず、そのモデルを全国、世界にも発信していくことを期待しています。



金沢大学学長補佐
(男女共同参画推進担当)
金沢大学男女共同参画
キャリアデザインラボディレクター
ダイバーシティ研究環境推進委員会委員長
長谷部 徳子

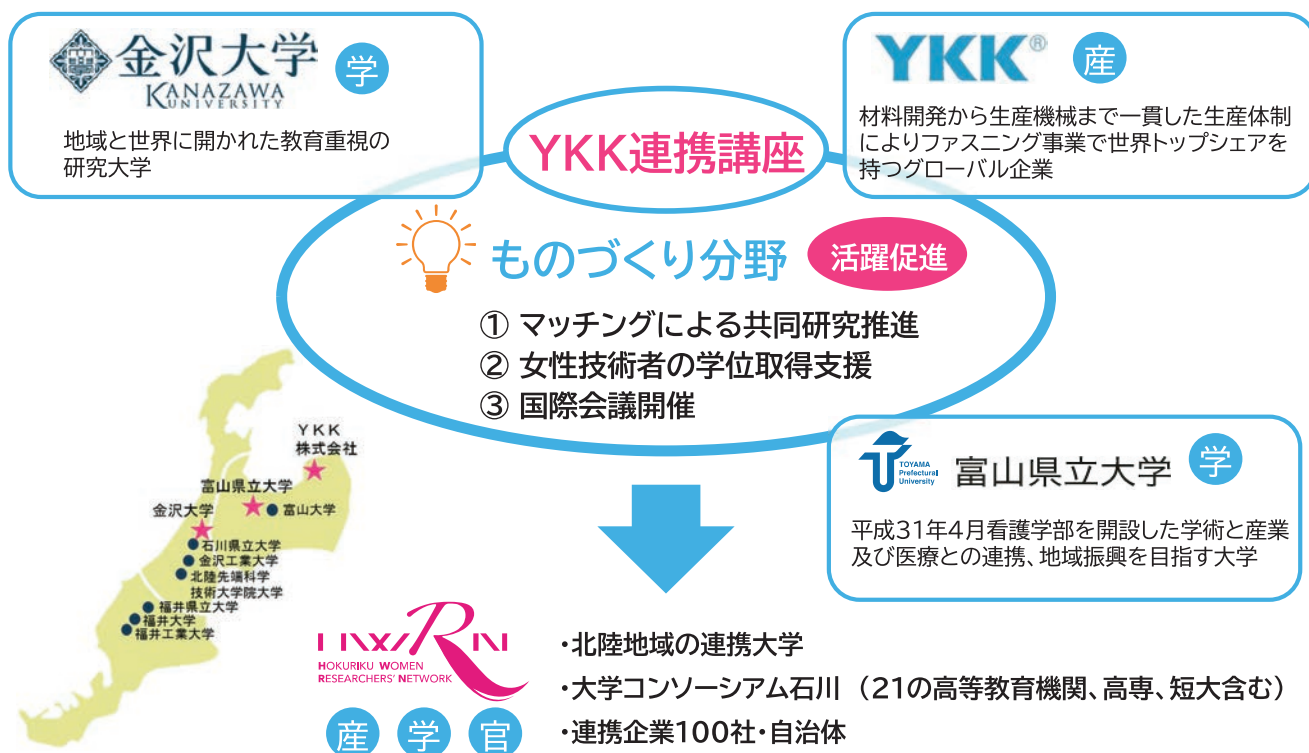
金沢大学では、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」にて、それぞれ特徴的な強みを持つ富山県立大学とYKK株式会社と連携して、ダイバーシティ研究環境の実現を目指す取組を行っています。補助金交付期間は一昨年度で終了しましたが、今年度も各機関独自予算を確保し全ての取組を継続することができました。またこれまでの取組の成果と反省に基づき女性研究者をとりまく環境の問題点を吟味することにより、今年度は「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択していただきました。

研究者にとってより良いダイバーシティ研究環境を当たり前にするために、また研究力を向上するために、できることはたくさんあるはずですが、コロナ禍の下、思うように進められないプログラムもあり、制度の壁に阻まれ支援を必要とする方に届けられないこともあり、とジレンマを感じた1年でした。

今後とも本事業の取組にご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

事業概要

金沢大学、富山県立大学、YKK株式会社が連携し、研究力向上による女性研究者の上位職への登用促進や、女子学生の大学院への進学促進など女性人材育成の好循環を形成する取組を行うことで、ダイバーシティ研究環境の実現を目指します。



主な取組

1. 北陸地域におけるダイバーシティ研究環境整備の牽引

- Hokuriku Women Researchers' Networkの継続
- ダイバーシティ研究環境推進委員会の開催
- シンポジウム及びワークショップの開催
- Webによる情報発信
- 女性研究者等研究支援制度
- 研究パートナー制度
- 人材バンクの普及
- 研究写真展などによる普及啓発

2. 女性研究者の研究力向上とそれを通じたリーダー育成

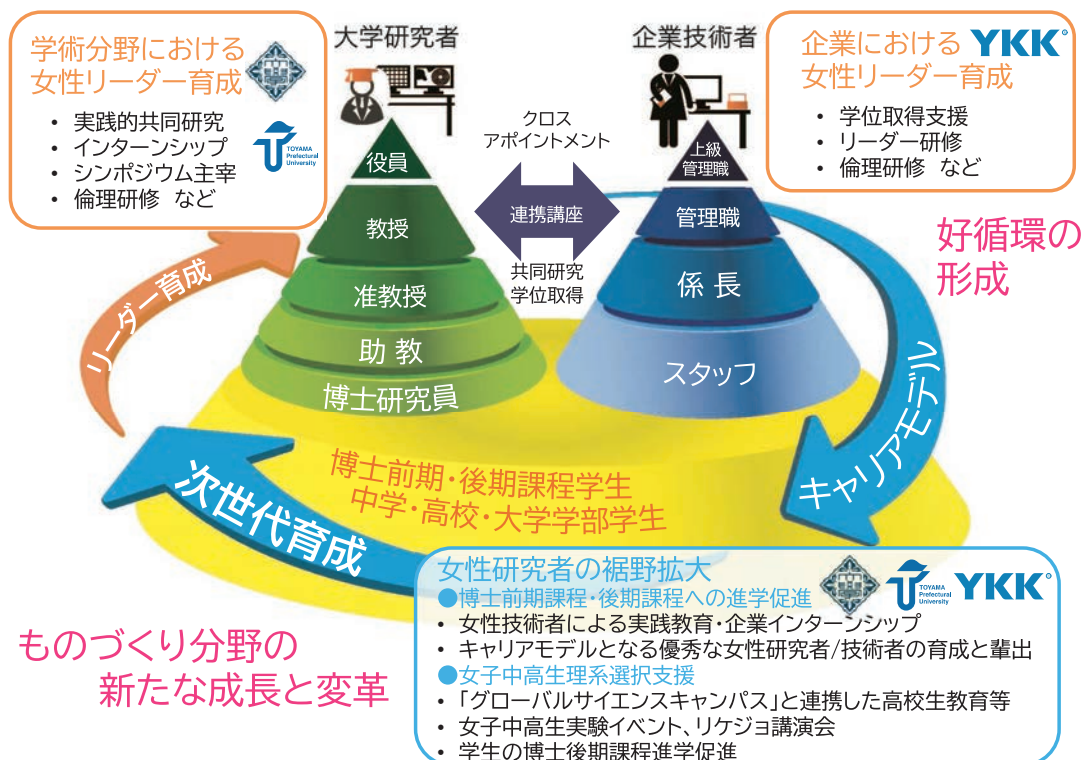
- 産学連携講座を核とした研究力向上
- 共同研究支援
- 女性研究者賞
- 女性研究者の企業などにおけるインターンシップ制度
- 研修を利用した研究能力・マネジメント能力育成
- 国際シンポジウム開催支援

3. 女性研究者の上位職登用促進のための基盤づくり

- 管理職や研究者対象のダイバーシティ意識啓発のためのセミナー
- 教員人事会議への女性委員の参画

4. 女性研究者採用比率の向上

- 部局別女性採用比率目標の達成
- 女性限定公募
- クロスアポイントメント制度を利用した女性研究者の採用

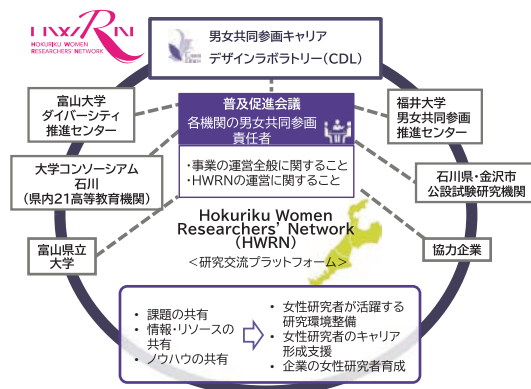


1 北陸地域におけるダイバーシティ研究環境整備の牽引

■ Hokuriku Women Researchers' Network (HWRN/ホウルネット)の継続と発展

北陸地域の高等教育機関、公設試験研究所、企業等からなる、北陸初の女性研究者ネットワーク Hokuriku Women Researchers' Network (HWRN/ホウルネット)を通じて、取組を北陸地域全体に波及させることにより、女性研究者・技術者の育成と活躍を牽引しています。

今年度は、本事業取組普及のプラットフォームであるHWRN連携機関の責任者(人事、男女共同参画担当)で構成される普及促進会議を、メールによる書面附議およびオンライン会議にて2回開催し、HWRNの運営や取組の方針について議論を行いました。



■ ダイバーシティ研究環境推進委員会の開催

金沢大学、富山県立大学、YKK株式会社の事業責任者等で構成する、ダイバーシティ研究環境推進委員会を設置、開催し、事業全体の運営の方針などを議論・決定しました。

今年度は、メールによる書面附議および会議(オンライン、対面)を3回開催し、各機関の事業進捗状況の情報交換や、今後の事業推進について議論を行いました。

■ 金沢大学人材バンク

平成20年度から運営している「金沢大学人材バンク」を普及し、研究機関の女性研究者支援活動の充実を図りました。人材バンクのさらなる普及のため、SNSなどによる広報も強化しています。

【令和3年度 活用実績】
登録者数：142件



■ ダイバーシティ研究環境推進シンポジウム

日時 令和3年12月8日(水)15:00~17:30

形式 オンライン開催

平成29年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の取組の一環として、「研究人材の流動化によるイノベーションの創出」をテーマとし、オンラインで聴講可能な形式でシンポジウムを開催しました。

基調講演では、東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻 教授 高井まどか氏をお迎えし、「夢をあきらめずに 焦らずに」と題して、研究者としてのキャリアパスや、時代の先を行く異分野融合的な研究内容、研究者を目指す若手へのメッセージなどについてご講演いただきました。基調講演をはじめ、本事業の取組紹介、令和3年度に金沢大学が選定された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の事業紹介、「令和3年度はあざみ女性研究者賞授賞式」の授賞式を執り行いました。

当日は、大学、企業、行政機関などから約80名の方々にご参加いただき、アンケートには、「キャリアパスについて講演者の事例紹介がとても参考になった」、「女性研究者支援の取り組みを知ることができ、非常に励みになった」、「いろいろな経歴の方がいらっしゃって活躍されている内容を知ることができて良かった」などの感想が寄せられました。



プログラム

- 15:00- 開会挨拶/金沢大学長 山崎 光悦
- 15:05- 来賓挨拶/文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室室長 三輪 善英氏
- 15:15- 取組紹介/金沢大学・富山県立大学・YKK株式会社
- 15:35- 基調講演/「夢をあきらめずに 焦らずに」
東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻 教授 高井 まどか氏
- 16:25- ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)事業紹介/金沢大学
- 16:35- 休憩
- 16:45- はあざみ女性研究者賞授賞式
- 17:25- 閉会挨拶/金沢大学男女共同参画担当理事・副学長 山岸 雅子

■ ワークショップ

女性研究者・技術者および学生を中心に、その他研究や技術開発に携わる関係者だれもが参加できる研究ワークショップを開催しました。この研究ワークショップは、金沢大学および富山県立大学とYKK株式会社、HWRN連携機関をはじめとし、他機関、異分野の女性研究者と研究交流を通じて、研究者同士の連携を促進し、共同研究のスタートにつなげることを目的としています。

令和3年度HWRNワークショップ「女性研究者等研究支援制度成果報告会」

日時 令和3年6月23日(水)10:00～11:30 形式 オンライン開催

令和2年度に女性研究者等研究支援制度に採択された4組が研究発表を行い、多岐にわたる発表毎に活発な質疑応答が行われ、異分野交流の有意義な機会となりました。

第9回女性医師の生き方セミナー

日時 令和4年3月26日(土)14:30～16:00 形式 オンライン開催

講師 村木 厚子氏(元 厚生労働事務次官・津田塾大学客員教授)

特別講演会+ワークショップ「コンピュータシミュレーションから始まった「ものづくり」との出会い～最強のおしゃれチェアをさがそう～」(共催)

日時 令和4年2月26日(土)13:00～16:00

会場 ITビジネスプラザ武蔵 研修室3

講師 米原 麻衣子氏(サイバネットシステム株式会社)

■ 研究パートナー制度

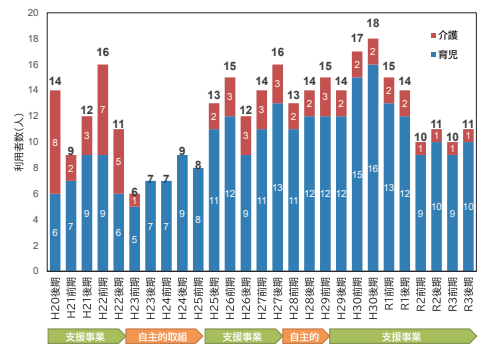
出産・育児・介護で多忙な女性研究者の研究活動の支援として、研究データ解析、学会発表資料作成、実験補助、文献調査及び統計処理等の研究補助業務を行う研究パートナーの雇用経費を助成しています。平成29年度より、研究を補助することにより研究パートナー自身のスキルアップ・キャリアアップを目指す研究パートナー制度(養成型)と、女性研究者の研究教育業務を補助する研究パートナー制度(支援型)を設けました。

【令和3年度 支援実績】

金沢大学 前期：10件(利用者10名、パートナー10名)

後期：11件(利用者11名、パートナー11名)

富山県立大学 2件(利用者2名、パートナー1名)



■ 女性研究者等研究支援制度

女性研究者等研究支援制度による研究費支援を通じ、女性研究者等の出産・育児等による研究中断からの復帰を支援し、また研究活動のスタートを支援することによって女性教員の応募・採用を増加させ、更に女性研究者同士のネットワークを広げることにより、女性研究者の研究力向上を図ることを目指しています。

【令和3年度 採択数】

復帰支援部門：2件

スタートアップ部門：2件

ネットワーク構築部門：2件

■ 出産・育児支援

はあざみルーム

妊娠中や体調がすぐれない場合の女性職員・女子学生の休憩や、乳幼児への授乳、搾乳、おむつ替え及びイベント開催時における保育室等のために利用できる「はあざみルーム」を角間キャンパスに設置しています。

試験時臨時託児室

令和4年1月15日(土)の大学入学共通テスト時に、臨時託児室を角間キャンパスに設置し、1名の利用がありました。

ベビーシッター利用料金割引事業

仕事・子育て両立支援策の一環として、ベビーシッター利用料金の一部を助成する、ベビーシッター利用料金割引事業を実施しています。本事業は内閣府の委託を受け公益社団法人全国保育サービス協会が実施している「ベビーシッター派遣事業」を利用して行うものです。

■ 研究写真展 Beauty in Science

科学の美しさに広く関心を持ってもらうことで、女性の理系分野への進学につなげる普及啓発活動の一環として、女性研究者が研究の際に遭遇した一瞬をとらえた写真を美しいパネルに仕上げ展示する研究写真展「Beauty in Science」を開催しました。

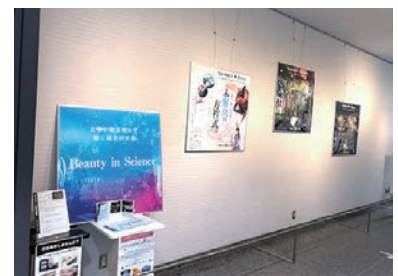
【令和3年度 展示】

金沢大学

- ・令和3年7月9日(金)～30日(金)金沢大学中央図書館ギャラリーα
- ・令和3年8月3日(火)～16日(月)金沢大学Webキャンパスビジット(動画公開)
- ・令和3年11月6日(土)金沢大学秋季対面型キャンパスビジット(令和3年度新作展示)

富山県立大学

- ・令和4年3月5日(土)オレンジキャンペーン in 射水(アルビス小杉総合体育センター)
- ・令和4年3月10日(木)～18日(金)富山県立大門高等学校



ギャラリーαでの展示の様子

2 女性研究者の研究力向上とそれを通じたリーダー育成

■ はあざみ女性研究者賞

優れた業績を挙げた女性研究者を顕彰することにより、当該女性研究者自身とこれに続く若手女性研究者の励みとし、研究意欲の向上につなげ、本学の教育研究の将来を担う女性研究者の育成等に資することを目的とし、はあざみ女性研究者賞を設けています。

令和3年度受賞者

◆中村賞 該当なし

◆紫花賞

金沢大学医薬保健研究域附属AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター 准教授 田中 利恵

◆若葉賞

金沢大学附属病院腎臓内科(金沢大学大学院腎臓内科学) 特任助教 大島 恵
 金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科 特任助手 新井 祥子
 富山県立大学看護学部母性看護学 講師 小林 絵里子
 YKK株式会社製造・技術本部 生産技術部 主事 片倉 美由起



令和3年度はあざみ女性研究者賞授賞式

■ 産学連携講座

金沢大学大学院博士後期課程に設置されたYKK株式会社との連携講座を核とし、富山県立大学を含めた共同研究のマッチングと推進、女性技術者の学位取得支援、国際会議開催支援などを行い、研究力向上を目指します。

■ 共同研究支援

昨年度から共同研究を行っている2組が審査の上、共同研究を継続し、また三機関が共同研究マッチングテーマを募集し、新たに2組が共同研究を開始しました。

【令和3年度 採択】

継続：金沢大学⇄富山県立大学 2件
 新規：金沢大学⇄富山県立大学 2件

■ 女性研究者を対象としたリーダー育成支援

上位職登用につながる研究能力、マネジメント能力等の向上を目指し、国際シンポジウム開催支援、外部研修の受講支援、セミナー開催、技術的集合研修などを行っています。

【令和3年度 実績】

金沢大学 女性研究者リーダー育成研修支援：1件
 富山県立大学 科研費申請書支援セミナー開催：1件

3 女性研究者の上位職登用促進のための基盤づくり

■ ダイバーシティ管理職研修・研究者対象セミナー

ダイバーシティ管理職研修(金沢大学)

日時 令和3年11月19日(金)13:00~13:40

形式 オンライン開催

講師 松久 晃士氏

(株式会社ワーク・ライフバランス)

本学管理職を対象に「ダイバーシティ管理職研修」をオンラインにて開催し、学長、理事、部局長等の管理職80名が参加しました。研修では、「ダイバーシティ推進セミナー～育児休業取得推進はなぜ必要か～」と題し、コロナ禍によって変化した働き方を踏まえ、ダイバーシティ&インクルージョンがなぜ経営課題なのか、男性の育児休業取得がもたらす影響と実態、男性の育児休業取得促進について説明を受けました。研修を通して、ダイバーシティ&インクルージョンを踏まえたマネジメント手法について考えるきっかけとなりました。

キャリアデザインを描くための“にじいろ研修”上司向けセッション(YKK株式会社)

日時：令和3年7月6日(火)、令和4年2月7日(月)

会場：オンライン開催

内容：働く女性を取り巻く現状と課題

キャリア開発の重要性と考え方

女性社員のキャリア開発支援と動機付け

講師：Official Creation 代表 國弘 隆子氏

キャリアデザインを描くための“にじいろ研修”(YKK株式会社)

日時 令和3年8月2日(月)~3日(火)、令和4年1月17日(月)

会場 YKK 黒部事業所 50ビル / オンライン開催

内容 自己理解

先輩社員との座談会

受講者間での情報交換

コミュニケーションスキルのインプット

講師 Official Creation 代表 國弘 隆子氏

先輩社員や他部署の女性社員との交流を通じて、長期のキャリアビジョンを描くヒントを得られる研修となりました。また、仕事上で実践できるコミュニケーションスキルも習得できました。

■ 教員人事への女性委員の参画

金沢大学では教員人事会議へ女性委員が参画することで、多様な視点を取り入れた教員評価を行っています。

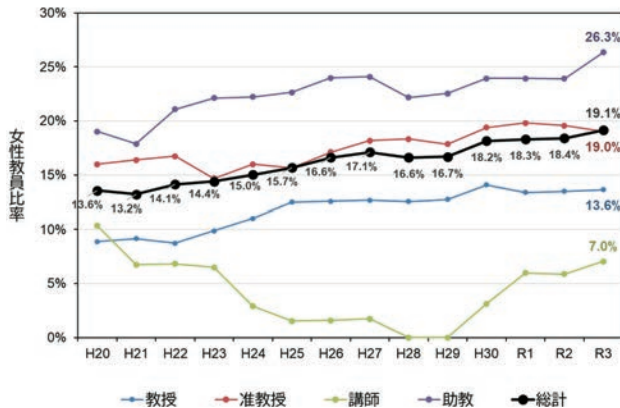
■ 管理職登用

管理職に女性を登用しています。

金沢大学 女性理事 富山県立大学 女性地域連携センター長
 女性看護学部長
 女性看護学科長

4 女性研究者採用比率の向上

本学全教員に対する女性教員数は上昇傾向であるものの、さらに女性教員数を増加させるため、以下の取組を実施しています。その結果、令和3年度も前年度と比較して女性教員数及び比率が上昇しました。



■ 部局別採用目標の追加設定

意欲的な女性研究者の採用比率の向上のため、部局別採用目標を設定しています。部局別採用目標を設定していなかった部局に対し、昨年度より新たに目標を定め、女性教員の積極的な採用を推進しています。

■ 女性限定公募

女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性限定公募を行いました。

【女性限定公募件数】

金沢大学 平成29年4月～令和4年1月

理工研究域 42件(公募中5件、5名採用)

人間社会研究域 6件(公募中1件、4名採用)

環日本海域環境研究センター 1件(1名採用)

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー 2件(1名採用)

富山県立大学 令和2年4月～令和4年1月

工学部 26件(10名採用)

■ クロスアポイントメント制度

金沢大学では、他機関との協定に基づき、相手機関の職員としての身分を有する者が本学の業務に従事するクロスアポイントメント制度を用いて、企業等の優秀な女性人材を教授、准教授として採用しています。

各機関におけるその他の取組

■ 女子中高生への理系進路選択啓発(金沢大学)

女性研究者のすそ野拡大に向けて、女子中高生に理系への興味や理解を深めていただくための実験イベントや講演会を開催しています。

今年度は金沢大学Webキャンパスビジットへのコンテンツ提供を行いました。

■ 金沢大学女性研究者支援“はあざみ基金”

女性研究者一人一人がその個性と能力を十分に発揮できる環境を整備するために、「女性研究者支援“はあざみ基金”」を創設しました。女性研究者支援の取組の継続と発展のため、ご協力をお願いします。



基金のWebサイト

■ プラチナくるみん(YKK株式会社)

YKK株式会社では、ライフイベントと仕事との両立を促進し、「プラチナくるみん」認定に至る等、女性社員への支援を進め、育児や介護と仕事が両立しやすい環境構築に向けて取組を進めています。



■ 女性医師研究活動支援(金沢大学)

優秀な女性医師の育成のため、診療に従事している女性医師を対象に研究費を支援する、附属病院独自の取組を実施しています。

今年度は本支援に7件の採択がありました。

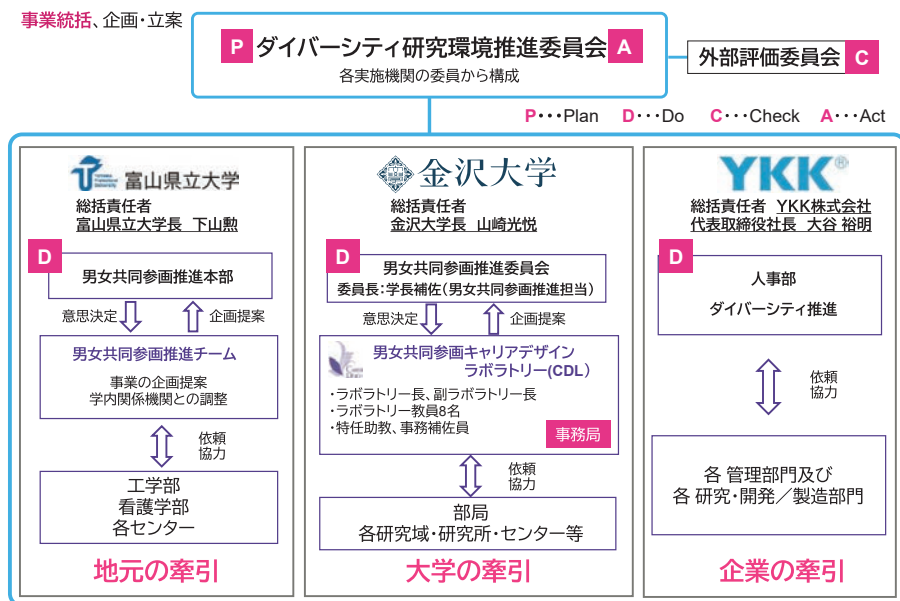
■ 女性教員・女子学生の増加(富山県立大学)

富山県立大学では、男女共同参画推進本部及び男女共同参画推進チームを設置し、ダイバーシティ研究環境実現に向けた取組を推進しており、女性教員が増加傾向にあります。

また、高校生向け特設サイト等で女子学生の活躍を紹介するなど、女子生徒や保護者に対し、理工系分野の進路選択に向けた積極的な情報提供をおこなっており、女子学生が増加しました。

実施体制

事業統括、企画・立案



※報告書内の組織名称は作成当時のものであるため、所属名などは現在と異なる可能性があります。

富山県立大学

平成2年に日本海側屈指の工業集積を背景に、富山県立の工学系大学として開学し、今日まで教育、研究、地域連携を積極的に推進して実績を上げ、就職に強く、また研究力の高い大学として高く評価されている。県民や産業、社会の期待に応え地方創生の一翼を担ってさらに飛躍していくため、平成27年に公立大学法人となった。また平成31年には、看護学部を開設し、医療・看護分野においても有用な人材を育成している。

平成29年、男女共同参画推進本部を立ち上げ、ダイバーシティ研究環境実現に向けた取組を推進している。

金沢大学

150年の歴史を持つ北陸地域の基幹的综合大学であり、平成21年度には、角間キャンパスへの総合移転が完成し、広大なキャンパスにおいて自由な学びの場を提供している。平成20年度に従来からの学部学科制を、人間社会学域、理工学域及び医薬保健学域の3学域へと改組し、より柔軟で自在な学びを実現している。令和3年度には融合学域を新たに設置し4学域体制となり、幅広い分野への深い理解力を備え、知識基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材を育成している。

平成13年に男女共同参画推進委員会を設置、平成20年に男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを設置し、多くの取組を行っている。

YKK株式会社

創業以来、80年以上にわたりファスナー等のファスニング商品を製造・販売しており、YKKグループは、企業精神である「善の巡環」のもと、「更なるCORPORATE VALUEを求めて」を経営理念に掲げ、「公正」であることをあらゆる経営活動の行動指針として事業活動を行っている。

社内での女性活躍推進の活動は平成10年にスタートし、活躍のための土壌作りを行い、リーダー候補者に対して中長期キャリア形成のための教育など、多くの取組を行ってきた。

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー スタッフ

ラボラトリー長

長谷部 徳子 / 環日本海域環境研究センター 教授

副ラボラトリー長

児玉 昭雄 / 新学術創成研究機構 教授

ラボラトリー教員

古畑 徹 / 人間社会研究域歴史言語文化学系 教授

新井 豊子 / 理工研究域数物科学系 教授

森下 英理子 / 医薬保健研究域保健学系 教授

滝口 昇 / 理工研究域フロンティア工学系 准教授

ラボラトリー職員

江口 友佳子 / 特任助教

瀧本 奈々 / 事務補佐員

柿川 真紀子 / 理工研究域生命理工学系 准教授

真鍋 知子 / 人間社会研究域人間科学系 教授

佐藤 渉 / 理工研究域物質化学系 教授

中島 美紀 / ナノ生命科学研究所 教授

西脇 ゆり / 融合研究域融合科学系 助教

福士 美和 / ワークライフバランスサポートオフィス研究員



金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

〒920-1192 石川県金沢市角間町
E-mail : cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp

Tel : 076-234-6907 Fax : 076-234-6908
URL : <https://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp>